

【ATC フィロソフィ®】

こんにちは。アークテックコム株式会社（ATC）で、マニュアル作成と翻訳を行っています。豊原 信です。



Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : [m.toyohara@arcteccom.jp](mailto:m.toyohara@arcteccom.jp)

## 適者生存と有意注意

今月も「機械学習や Deep Learning や Neural Network」の学と、弊社のフィロソフィと、恒例の「応援メッセージ」をお送りします。

### 自然言語処理と Deep Learning での気付き

中々、本質を掴まえるところにたどり着けないですね。少し脱線しますが、私の知っている社会保険労務士の方が、『株取引で 100%儲ける方法は、市販されている株取引関係の書籍を全て読むことです。』と言われていました。この考えに倣って、機械学習や Deep Learning の本を全て読んでみようと思います。

自然言語処理で理解が難しいのは、文章の意味をコンピューターに理解させるという考えです。方法は文章を行列やベクトルに置き換えます。文章を構成する単語を行列やベクトルの要素に置き換えて、コンピューターに学習させます。学習が終了したら、正しく学んだかどうかをテストします。テストには 2 種類在っ

て、1つの Key word を前後に並ぶ単語から推測させる方法と、Key word の前後に来る単語を推測させる方法です。良くこんなことを考えたなど感心させられます。そして、Key word は文章に出現する重要度の確率の高いものが自動で選ばれます。

この一連の工程は、私達の脳の神経回路に似ています。

\*\*\*\*\*  
ここから弊社のフィロソフィです。

### 適者生存、自然界を生き抜く植物の生き方に倣う

自然界の動植物は、宇宙の摂理／意志に同調するために、一瞬一瞬をど真剣に生きています。そうしないと、生き残れないからです。これが適者生存の生き方です。

例えば、北極圏のツンドラ地帯では、夏になると植物が一斉に芽を吹きます。北極圏の夏はあっという間に過ぎていきます。夏のうちに小さな花をできるだけたくさん咲かせ、種子をつくり、そして寒

い冬を乗り切ろうとしているのでしょうか、短い夏を精一杯に生きています。

日本でも、春になり、残雪が解ける頃になると、岩場ばかりの高山地帯でも、草木がすぐに芽を吹き、花を咲かせます。やがて種子をつくり、また冬に備えるのです。あるいは、雑草と言われるような植物でも、1日1日を本当に真剣に生きています。

また、アフリカの砂漠にも、年に1回か2回は雨が降るといいます。その雨が降るや否や、すぐに植物が芽を出し、花を咲かせる。そして、1～2週間という本当に短い間に種子を宿し、また雨が降るまで激しい熱砂に耐え、生き延びていく。このように、自然界では、すべての生物が本当にど真剣に一瞬一瞬を生きていくのです。

我々人間も、1日1日を<sup>ないがし</sup>蔑ろにすることなく、ど真剣に生きていかなければなりません。それが我々と宇宙との、また神様との約束事だろうと思います。だからこそ、誰にも負けない努力が必要に

なってきます。

### 「有意注意」で生きる

「有意注意」とは、意識的に意を注ぐということです。

例えば、音がしてそちらをパッと振り向く、これは「無意注意」と言います。それは、何も意識しないで、音がしたので驚いて反射的に振り向いただけのことです。

これは中村天風さんの言葉です。天風さんは「生きていくには、常に意識して物事をしなさい。無意識にしてはいけない」と仰っています。このことは非常に大事なことで、どんな些細なことでも意識を集中して物事を考える、自分で意識をそちらに向ける、つまり「意を注ぎなさい」ということなのです。人間は心と肉体を持っていますが、この心を「真我」でもって制御することが正しくこれに当たります。

「これは些細なことだから部下に任せよう、これは大きなテーマだから自分で考えよう」ということをしていたのでは、「いざ鎌倉」というとき、つまりたいへん大事なことを自分の判断で決めなければいけないときに、普段からの「有意注意」の習慣がないものだから、考えることも、決めることもできない。そのために失敗する例がよくある。したがって、天風さんは、「人生においてはどんな些細なことでも全神経を集中して物事を考える習慣にしなさい」と仰っているのです。

12月号に続きます。

\*\*\*\*\*  
11月の応援メッセージです。

いつでも人生は切り替えられます。自分の中の「真我」(良心)と向き合えばできるのです。

一人ひとりの中に、「真我」(良心)という素晴らしい宝物があります。その宝ものと、真摯に向き合えば、おのずと進むべき道が見えてきて、やるべき事が見えてきます。

自分自身で、自分に諦めを持って生きていないですか？自分の食欲さに流されてしまっているいませんか？妥協という、意味不明なものを判断基準に据えていますか？

「真我」(良心)に従って、もし人生を切り替えさえすれば、必要なものは揃ってきます。不思議と揃ってきます。必要なものが揃ったら、人生を切り替えようと言うのでは、永遠に出来ません。必要なものは、必要になった時に手に入るもの。必要なのに、どうしても手に入らないものは、本当は必要のないものです。

私達は素晴らしい人生というものを与えられています。それをどう使うかという自由も一緒に与えられ、手にしています。頭で考えないで、「真我」(良心)から湧き上がって来るものに従いましょう。

他人がどう言おうと構わない。自分自身の「真我」(良心)と向き合えばいい。それが世の為、人の為、仲間の為に通じ、自分の幸せに通じているのだから。

あなたの人生は、あなたのもの、他の誰のものでもないのです。ただそれを世の為、人の為、仲間の為に使う。そうすることで、心を高め、人としての器を大きくできます。

\*\*\*\*\*

豊原 信